



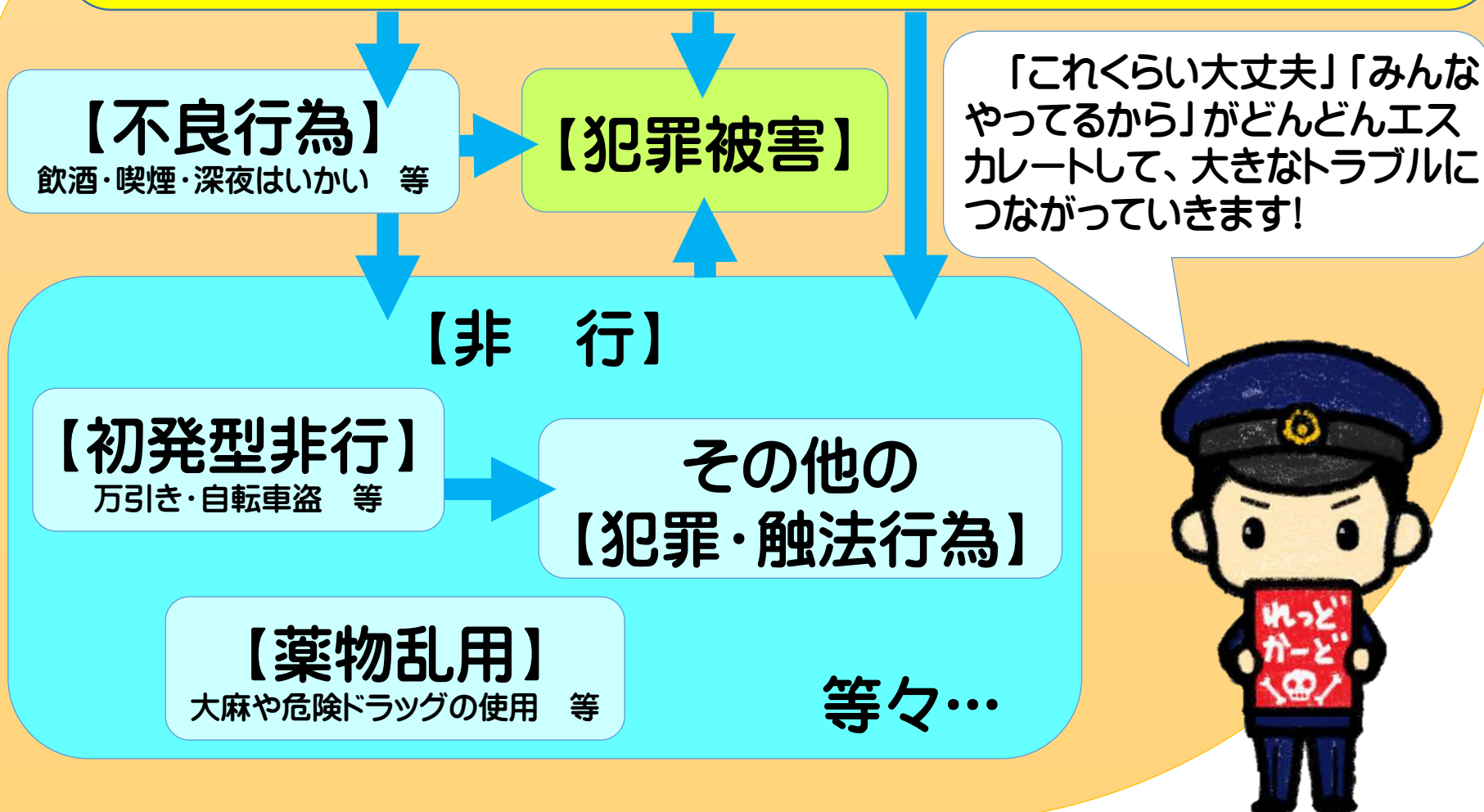
宮崎県警察本部少年課だより～いのち・じんけん・かのうせい～

保護者のみなさん・学校の先生方へ
もうすぐ夏休みがやってきます。子供たちが**安心・安全な夏休み**をすごせるよう、子供たちを守る立場として注意すべき点をまとめました。このリーフレットに書かれていることについて、ぜひ、お子さん(児童生徒)と話し合ってみてください。

◎ 夜間(早朝)の子供だけの外出に注意！

夏休みになると、自由な時間も増え、地域でお祭りが開催されるなど、楽しい行事が目白押しになります。その一方で、そのような行事がきっかけになり、トラブルが多く発生する時期でもあります。

～夜間(早朝)に子供だけで行動すると以下のような**リスク(危険性)**が…～



◎ みんなで創る“安心・安全な交通社会”

夏休みになると外出することも多くなり、交通事故のリスクが高まります。

～全員がルールを守り、安全な交通行動をとることで、交通安全が実現します～

【ルールを守れていますか？】

- ☐ 横断歩道外横断の禁止
- ☐ 車両直前直後横断の禁止
- ☐ “ながらスマホ”は禁止
- ☐ 自転車の並進は禁止

【安全な交通行動ですか？】

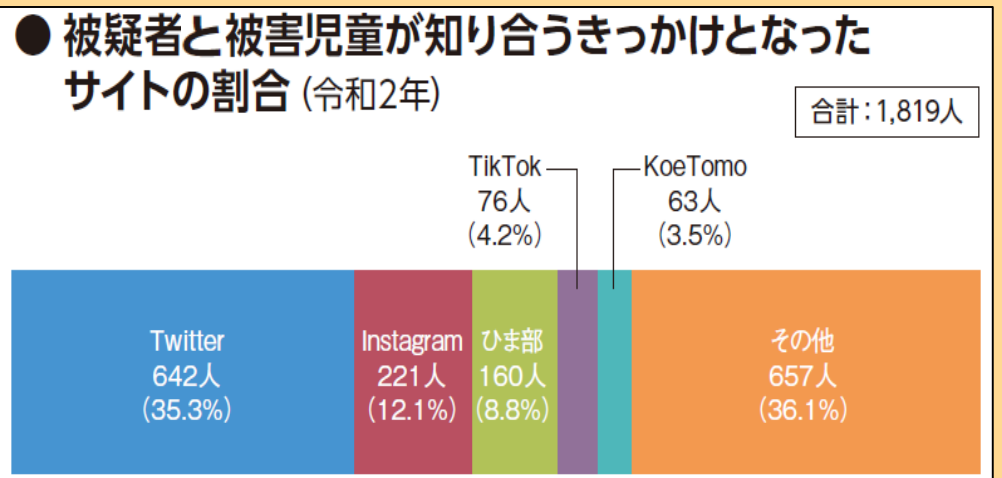
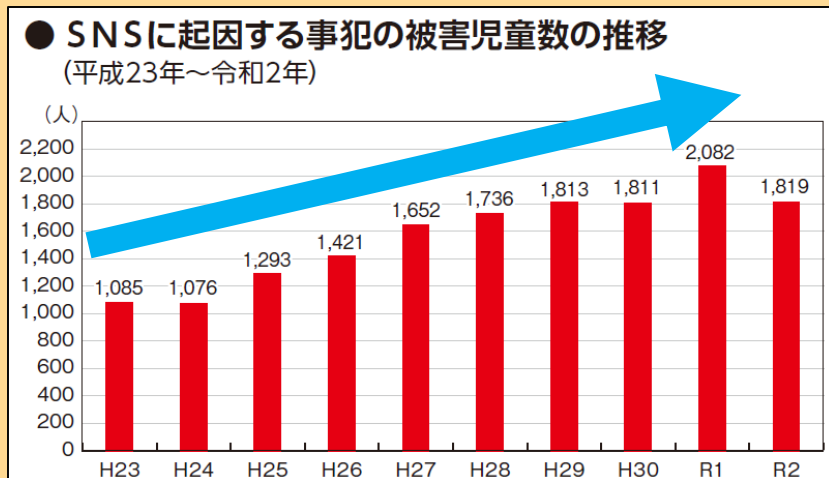
- ☐ 横断前に手を挙げて意思表示
- ☐ 青信号でも車の停止を確認して横断
- ☐ 横断中でも左右確認
- ☐ 一旦停止の標識を確認して停止

◎ 「正しく」・「安全に」使うインターネット・SNS

夏休みになると、子供たちのスマートフォン等を使う時間が増えます。インターネットやSNSは、便利で楽しいものですが、同時に様々なリスク(危険性)があります。

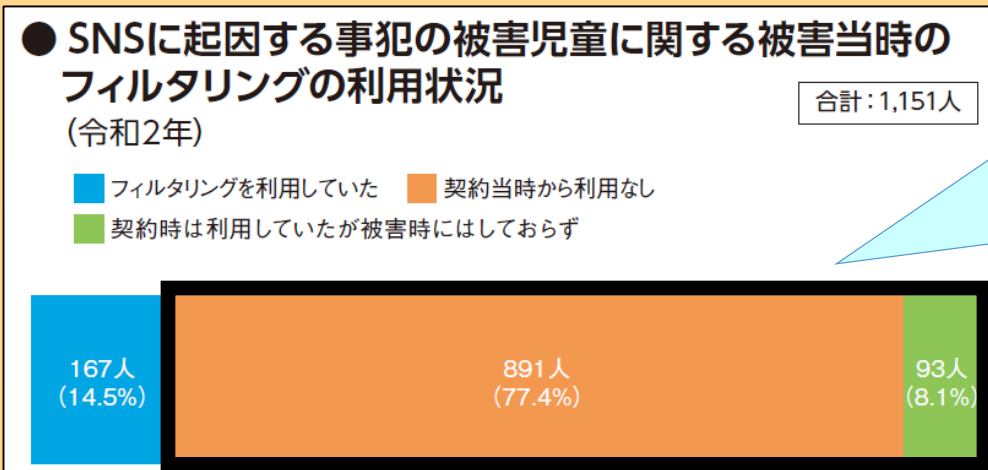
～「インターネット・SNS利用に起因する犯罪」の被害・加害を防ぐために～

※ “児童”：18歳未満の者を指す ※ 数値は、全国のデータ(令和2年まで)



○ SNSをきっかけとして**性被害**にあった児童数は、**増加傾向**です。この10年で、**2倍近く**に**増えています**。

○ 被疑者は、**有名なSNSアプリ**を利用して、**児童と簡単に連絡をとっている**ことがわかります。



○ 被害児童の**85%以上**が、被害時に**フィルタリング**を利用していませんでした。

○ 令和3年度の保護者抽出調査でも、**宮崎県内の小中高生の約50%がフィルタリングを使用していない**ということがわかりました。

○ **フィルタリング導入により、被害にあうリスク(危険性)を大きく低下させることができます。**

『少年からのシグナル(令和3年 警察庁)』より

夏休みに入るこの機会に**次のことを親子で一緒に確認**してみましょう!!

- “**フィルタリング**”(有害なサイト・情報にアクセスできない機能)を導入しているかどうか
- 以下のような内容について、**現在守れている**かどうか

- | | |
|--|--|
| ☐ 利用時間や利用料金を決める。 | ☐ ダウンロードするアプリは保護者に事前に確認する。 |
| ☐ 氏名等の情報や写真など個人を特定される情報を書き込まない。 | ☐ 保護者や他人のID・パスワードを勝手に使わない。 |
| ☐ 知らない人と電話やメールの交換をしたり、会ったりしない。 | ☐ 下着姿や裸の写真は撮らない、撮らせない。 |
| ☐ 困ったことがあれば、必ずすぐに保護者に相談する。 | ☐ 「家庭内ルール」を守れなかった時のルールを決める。 |



← **ぜひお子さんと一緒にご覧ください!!**

- 普段の生活や夏休みに注意してほしいこと
- 子供を守る大人(保護者・教職員)として、注意するポイント等が「健全育成ハンドブック」として、さらにくわしくまとめられています。

